なぼえ自慢

百歳を超えてなお「若い」能・狂言師 ～ 村岸（むらぎし） 文輔（ぶんすけ）氏

村岸氏は1900年5月、能・狂言の盛んな滋賀県彦根市のお生まれです。アマチュア能楽師だったお父さんについて習い始めたのが4歳ということで、そのキャリアは一世紀にもなろうとしています。製綿会社に就職し、24歳で小樽に渡った村岸氏は3年後、独立を機に現在お住まいの苗穂（中央区）に移り住まれました。

道内最大の能愛好会である「札幌能楽会」の設立に携わり、また、会長を歴任する中で、札幌に能楽を広め、育てた功績から1977年には「札幌市市民文化奨励賞」を、1990年には「市民芸術賞」を受賞しました。演じるだけではなく、能・狂言についての造詣も深く「謡曲歴史の年表」「謡曲に因む源平物語」などの著書も著されています。

5月で102歳を迎える村岸氏の気力・体力は衰えということを知らないようで、現在、若者でも体力的にきついと言われている狂言「那須語（なすのかたり）」の12月公演に向けて稽古中だということです。90歳を間近にして「まだ若いですから」と語ったという逸話がある村岸氏。その「若さ」はまだまだ健在のようです。

現在の狂言の師である和泉流二十世宗家・和泉元彌氏（右）と。和泉家には四代にわたって師事している

これからの行事予定・お知らせ

■豊平川河川敷 ゴミ拾い
と　き：5月11日（土）9：00～12：00 ※予定
ところ：豊平川河川敷（一条大橋～北13条大橋間の左岸）
主　催：当協議会緑化推進部会
豊平川は都心を流れる、世界でも珍しい鮭の遡上する川です。その環境を守るためにゴミ拾いを行います。詳細は後日、回覧板などでお知らせしますので、ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

■陸上自衛隊苗穂分屯地創立記念行事
と　き：6月23日（日）9：00～14：00
ところ：苗穂分屯地（苗穂町7）
ＴＥＬ：711-4251（内線240）
音楽隊の演奏やジープなどの体験試乗を予定しています。詳細につきましては、上記電話番号までお問い合わせください。

■ビヤフェスティバル（工場開放デー）
と　き：7月7日（日）10：00～15：00
ところ：サッポロビール札幌工場（北7東9）
ＴＥＬ：741-9191
工場・博物館見学、出来たてビール・ジュースの無料試飲、ステージアトラクション、子供向けゲーム、フリーマーケットなどを行います。

■東区・中央区 それぞれで花植え
当協議会緑化推進部会の主催で、東区・中央区の苗穂連合町内会などと協力しながら花植えを行います。詳細については、回覧板、掲示板などでお知らせする予定です。

編集後記

今後、「まちづくりガイドライン」実現に向けて各分野で活動が展開されますが、本紙ではその折々のニュースを紹介してまいります。まちづくりは住民参加が基本です。今後とも多くのご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。（雨海）

●発行者：苗穂駅周辺まちづくり協議会
（共同発行）　〒065-0041 札幌市東区本町1条2丁目
ＴＥＬ：011-782-2301 / ＦＡＸ：011-783-5611（宮口事務所）
札幌市都市局市街地整備部地域計画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
ＴＥＬ：011-211-2545 / ＦＡＸ：011-218-5176
担当：斎藤・碓井・加藤
●編　集：苗穂駅周辺まちづくり協議会 まちづくりニュースチーム
部会員：雨海・上野・小飼・森（部会長）・村岸・吉留
●編集協力：(株)ノーザンクロス
●平成14年3月末発行
（第11号は平成14年7月発行予定です）
さっぽろ市
03-L07-01-321
13-3-129

キリトリ線

郵便はがき

〒060-8788

料金受取人払

札幌中央郵便局承認

1193

差出有効期限
平成15年6月
30日まで
（切手不要）

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市都市局
市街地整備部地域計画課 行

本紙への要望・新コーナーアイデア 大募集！

第10号という節目を迎え、次号はリニューアルも含めて検討していきたいと考えています。皆様からの「こんな内容に」「こんなコーナーを新設して」といったご要望、アイデアをお待ちしています。

中央区「苗穂杉の木 子ども会」が作ったスノーキャンドルが1/27～29日、毎夕1時間、苗穂会館前で点灯された

はばたく苗穂

苗穂駅周辺まちづくりニュース 第10号

次への一歩を踏み出したまちづくり

～「第5回 まちづくりワークショップ」の報告～

札幌市が「まちづくりガイドライン」を発表！

今年度、最終回となる「第5回 まちづくりワークショップ」が3月6日（水）、JR研修センター（北5東11）で行われました。苗穂まちづくりの方向性を決める「まちづくりガイドライン」が札幌市から発表されるということで、地域の住民、企業から約50名が参加しました。

札幌市による説明の後「駅前広場用の土地を事前に確保したり、景観を守るために規制をかけることができないのか」という質問が出されましたが「民間再開発をはじめとする事業実施の確定まで制限を設けることはできないので、地権者をはじめ住民の方々にガイドラインを理解してもらう取り組みをねばり強く行っていくことで対応します」（札幌市）とのこと。また「景観を含めたまち並みのあり方については、住民の方によるさらなる議論が必要です」（札幌市）という課題も出されました。

いよいよ動き出す実践活動

次に、協議会の今後のまちづくり活動を担う実践活動部会の来年度活動方針が発表されました。

「実践を通じ協議会のアピールを」「健康づくりのために『歩こう会』を開催しては」といった提案があるなど、ガイドライン発表の節目を迎え、苗穂の「住民主体のまちづくり」はますます発展していきそうな気配です。

ガイドライン策定までの歩み

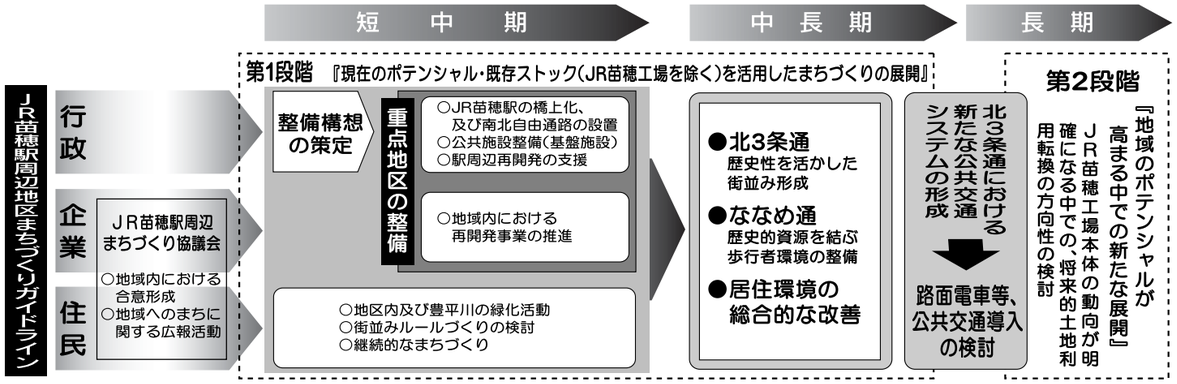
まちづくりガイドラインは、一朝一夕にできたものではなく、ここにいたるまでには1年半にわたる住民、行政、企業による検討・議論があったのです。地域の皆さんのご意見をいただく「ワークショップ」や、住民の代表、学識経験者、関係機関などから構成する「検討委員会」での議論で出された意見、提案などを基に札幌市が作成しました。

2000年	9月 第1回 まちづくりワークショップ「苗穂の課題を考えよう！」	2001年	7月 第3回 まちづくりワークショップ「苗穂の交通のあり方について」
	12月 第1回 検討委員会「まちづくりの方向性の確認」		11月 第5回 検討委員会「まちづくりガイドラインの素案検討」
2001年	1月 第2回 検討委員会「産業文化・交流地区のあり方」		11月 第4回 まちづくりワークショップ「まちづくりガイドライン素案の発表と駅周辺のイメージづくり」
	2月 第2回 まちづくりワークショップ「苗穂まちづくりのアイデアを出し合おう！」	2002年	1月 第6回 検討委員会「まちづくりガイドラインのまとめ」
	3月 第3回 検討委員会「都心型居住地区のあり方」		3月 第5回 まちづくりワークショップ「まちづくりガイドライン発表！」
	6月 第4回 検討委員会「まちづくりを通じた産業の育成・振興」		

2. ガイドライン実現化のプログラムと役割

■プログラム

短中期の取り組みとしては、民間再開発の喚起・誘導と、それと連携したJR苗穂駅の橋上化や南北自由通路の設置、そして地域の緑化活動といった身近な活動を展開します。中長期には歩行者環境の整備・改善を、さらに、長期の取り組みとしては路面電車等の公共交通やJR苗穂工場敷地の将来的活用について検討していきます。（下図参照）



■住民・企業・行政の役割分担

まちづくりガイドラインは行政だけ、住民だけで実現できるものではありません。住民・行政・企業の３者がそれぞれの役割を担いながら、緊密に協力し合って進めていく必要があります。

住民の役割
●住民主体の具体的な取り組み
（街並みのルールづくり、緑化推進など）

行政の役割
●整備構想の策定、民間再開発と連携した公共施設整備
●民間再開発事業の喚起・誘導・支援
●まちづくり活動への支援
※当面、整備構想策定などの取り組みを進めます。

企業の役割
●再開発事業の推進
●専門家としてのアドバイス、支援

ガイドラインQ&A

Q1　駅の移転、橋上化はもう決まっているの？

まだ、決定したことではありません。苗穂駅の移転、橋上化は札幌市が先行して行うのではなく、駅周辺の民間による再開発の動きが出てきたときに、連携して進めていくことになります。

Q2　ガイドライン実現のために、私たち一人ひとりの住民は何ができるの？

まちを良くしていくための取り組みを「できることから」やっていただければと思います。苗穂駅周辺まちづくり協議会や町内会、その他の団体が行う、まちを良くするためのさまざまな活動への参加がまず考えられますが、家の前のゴミを拾ったり、積極的に近所の人に声をかけたりということも、小さいけれど、まちを良くしていくためには必要な取り組みです。

Q3　ガイドライン実現の期日が示されていないのはなぜ？

それは、まちづくりガイドラインが、いわば「意思表明」だからです。「まちをこのようにしたい」という方向性をガイドラインで共通の目標として掲げ、その実現のためにはどうすればいいか、これから住民、行政、企業が一緒になって具体的な道を探っていくのです。そういった意味からは、苗穂の再開発はようやく一歩を踏み出したところですが、それは、とても大きな一歩なのではないでしょうか。

Q4　ガイドラインって一度つくったら変えられないの？

いいえ。社会情勢や地域を取り巻く環境など、さまざまな状況の変化に合わせて、内容を変更する部分も出てくるかもしれません。その際は行政だけで見直すのではなく、地域住民の皆さんと一緒に検討していきます。

まちづくりガイドラインについてのお問い合わせは 札幌市都市局市街地整備部地域計画課（TEL：211-2545）まで

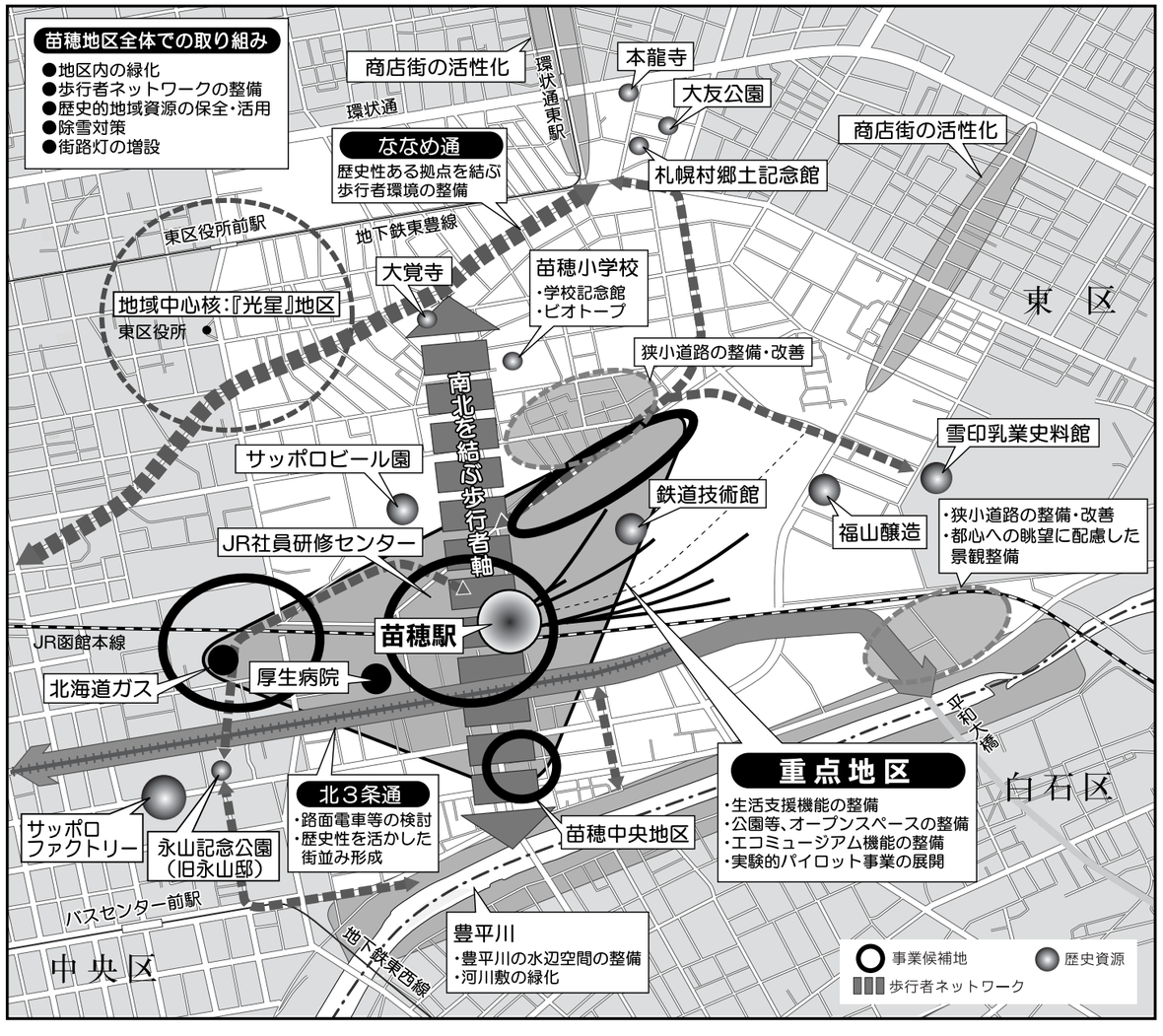
札幌市発行

JR苗穂駅周辺地区 まちづくりガイドライン

「まちづくりガイドライン」とは、地域のまちづくりを住民・企業・行政が協力して進めていくために持つ「将来のまちのイメージ＝道しるべ」です。したがって、ガイドラインそのものが何らかの事業を担保するものではありませんが、これらに基づいて住民・企業・行政の3者がそれぞれの役割を担い、協力し合って進めていきたいと考えています。

1. まちづくりガイドラインの内容

このまちづくりガイドラインでは、JR苗穂工場の動向が明確でない現状を前提とした短中期・中長期の取り組みと、苗穂工場の動向が明確になった時点での長期の取り組みについて、合わせて整理しています。



重点地区の整備目標

●JR苗穂駅の整備
・駅の橋上化・自由通路
・駅施設のバリアフリー化

●公共施設の整備
・南北駅前広場・道路
・歩行者ネットワーク（南北軸）

●公共施設整備と連携した駅周辺再開発の展開

実践活動部会 平成14年度の活動

緑化推進部会

「緑化だけではなく、広くまちの環境改善・美化に努めたい」という思いから、「環境部会」に名称を変更しようという検討も行っています。

《地域の美化活動の推進》

①豊平川河川敷の清掃
清掃範囲は一条大橋～北13条橋の間で、中央区・東区の住民がそれぞれ両側から行います。
※第1回目の日時が決まりました。4頁をご覧ください。

②道路の草取り、ビン・缶拾い
各自が自発的に取り組みます。また、PR活動をイベント部会と合同で展開します。

③「ポイ捨て禁止」看板の設置
東区・中央区の両苗穂連合町内会に所属する27町内会と豊平川に、材料費のかからない方法を工夫し、イベント部会と連携して設置します。

《植樹活動》

④歩道街路樹への花植え
各単位町内会と連携して行います。また、札幌市公園緑化協会に申請し、フラワーポットをお借りして実施する予定です。

⑤各自宅前のガーデニング
各自が自発的に行います。

《その他》

⑥協議会活動の際の腕章制作
協議会の活動を行うときに参加者がつける腕章をつくる予定です。

イベント部会

①町内会の代表による話し合い
東区、中央区の両苗穂連合町内会に所属する各単位町内会の代表者が集まり、苗穂の課題について話し合う会合を持ちます。

②各種団体との懇談の場を設ける
小・中学校、PTA、企業、商店街、NPOなど、地域にあるさまざまな団体と交流する場を持ちたいと考えています。

③地域資源を体感するタウンウォーキング（まち歩き）
平成13年度の初めに発行した「なえぼ散策マップ」を用いて、中央区側、東区側に分けて行います。

④企業部会研究報告会
企業部会では、苗穂のまちづくりについて調査・研究をしていますが、その検討過程について、報告会を開きます。

⑤第11回　まちづくりフォーラムの開催
11月～12月に、その年の協議会の活動を住民の方にご報告するフォーラムを行います。

ニュースチーム

①「はばたく苗穂」の発行
平成14年度は第11号（7月）、12号（12月）、13号（3月）の3回の発行を予定しています。

②ポスター
イベントの案内などを掲載したポスターを制作し、連絡所や町内会掲示板などに張り出します。

③回覧板
「はばたく苗穂」の補足、イベントの案内を発信していきますのでお見逃しなく！

④広報車によるイベント前の呼びかけ
騒音の問題があるため、実際に行うかどうかは検討中です。

各実践活動部会では、常時、部会員を募集しています。
参加を希望される方は、協議会事務局までお気軽にお問い合わせください。お待ちしています。

まちづくり活動報告
第1回 苗穂を語る会 開催！

住民が自分たちのまちのことを自由に語り合う「苗穂を語る会」が2月8日（金）、中央区苗穂連合町内会（以下、苗穂連町）の主催により苗穂会館（北1東10）で開催されました。このような催しは全市的にも珍しく、中央区では初めての試みです。

近年、さまざまな地域で核家族化や共働き、人口の流動化などによって住民の地域への関心が薄れ、地域の防災や福祉などを支えてきたこれまでのコミュニティを維持することが難しくなりつつあります。そこで、苗穂連町では、住民が地域に関心を持つきっかけになればと、この会を開催しました。

会には地域住民のほか、行政や企業関係者、約50人が参加しました。1回目のテーマは「苗穂の個性と魅力」。かつて中央区苗穂連絡所長を務めた宮田克之さんが苗穂の歴史について熱弁をふるったあと、宮田さんをはじめ、連町会長の大島脩さん、札幌スカイタワー町内会会長の盛一英俊さん、中央中PTA副会長の西村淑子さんによる座談が行われました。座談では「軟石倉庫など、地域にある歴史的建築物にもっと目を向け、その保存・活用に努めてはどうか」「北3条通を昔の面影がしのばれるように整備してはどうか」など、積極的な提言が相次ぎました。参加者が番号のついた色紙を上げる形式の会場アンケートも行われ、意外な回答結果に会場が沸き返る場面も見られました。

この「苗穂を語る会」は、企画運営や講師を住民自身が務めており、誰もが気軽に参加できる催しです。苗穂連町では、今後も住民に身近なテーマで年3回程度開催する予定です。詳細は苗穂連絡所（261-3669）まで。

皆さんからの 声

■JR一地下鉄を結ぶバス路線の整備を
H・Yさん（東区・40代男性）

JRと地下鉄（東区役所駅、環状通東駅）を結ぶバス等を整備することにより、札幌駅まで出なくても乗換ができて、苗穂を中心に動く人の流れが多くなり、地域が活性化できると思う。

（協議会）将来、苗穂駅が移転し、駅舎の橋上化と自由通路ができれば人の流れも変わってくるでしょう。その時には、地域のバス運行経路を含めた地区の交通を考えていく必要があると思います。

前号の「冬の公園利用法大募集！」に、多くの方から楽しいアイデアをいただきました。一部を紹介すると……。

●大人と子供が触れ合うイベントを（M・Nさん 東区・50代男性）
大人と子供が触れ合う手段として雪をキーポイントとしたもの。例えば巨大雪ダルマやアイスキャンドルづくりなど。

●スローホッケー（I・Nさん 東区・40代女性）
ふわふわボールをやわらかいストックでゴールに入れる、スノーホッケーならぬ「スローホッケー」。高齢者も参加できるようにルールを整備して。

●体の中から温まろう（H・Tさん 東区・40代男性）
真冬の公園で豚汁やジンギスカンなどを食べる。

キリトリ線

キリトリ線

皆さんの声をお待ちしています

実践活動部会の活動予定など、苗穂のまちづくりに対するご意見やアイデアをどしどしお寄せください。寄せられたものは紙面で紹介していきます。

お名前　　（男・女）

年齢　　才　ご職業

電話番号

ご住所

ご協力ありがとうございました。